



秦 忠夫 教授

1963年3月 京都大学経済学部経済学科卒業（経済学士）

- 1963年4月 株式会社東京銀行入行
- 1974年1月 欧州東京銀行総務部長、企画部長
- 1980年1月 東京銀行本店調査部国際経済第一課長
- 1984年7月 東京銀行本店調査部次長
- 1987年3月 東京銀行ニューヨーク支店調査担当参事役
- 1989年6月 東京銀行本店調査部参事役
- 1993年4月 青山学院大学経営学部兼任講師
- 1993年4月 京都大学経済学部兼任講師
- 1995年4月 愛知淑徳大学現代社会学部助教授
- 1997年4月 愛知淑徳大学現代社会学部教授
- 1998年4月 専修大学経済学部兼任講師
- 1999年4月 愛知淑徳大学大学院現代社会研究科教授
- 2010年4月 愛知淑徳大学交流文化学部教授

社会活動・学会活動：

- 「21世紀日米委員会プロジェクト」日本委員会スタッフ
- 「ブレストンウッズ機関の改革に関する日米欧三極プロジェクト」日本委員会スタッフ
- 国際経済学会、日本金融学会

業 績

I. 主な著書：

1. 『21世紀の国際通貨システム』（金融財政事情研究会、共著 1995）
2. 『国際金融のしくみ』（有斐閣、共著 1996）
3. 『柏木雄介の証言：戦後日本の国際金融史』（有斐閣、共著 1998）
4. 『マネーマーケットの大潮流』（東洋経済新報社、共著 1999）
5. 『新版：国際金融のしくみ』（有斐閣、共著 2002）
6. 『第三版：国際金融のしくみ』（有斐閣、共著 2007）
7. 『第四版：国際金融のしくみ』（有斐閣、共著 2012）

II. 主な論文：

1. “Internationalization of Financial Activities in Japan” (Korea Federation of Banks、共著 1985)
2. 「東京金融市場の国際化について」(京都大学経済学部経済学会、単著 1986)
3. 「国際通貨システムの将来展望とIMFの役割」(ブレトンウッズ・コミッティ・プロジェクト日本委員会報告、単著 1992)
4. 「ブレトンウッズ協定50周年」(東京銀行経済四季報1994夏号、共著 1994)
5. 「国際通貨制度の歴史と為替の安定」(ESP1994年11月号、単著 1994)
6. 「国際通貨制度改革をめぐる最近の議論」(東京銀行経済四季報1995春号、単著 1995)
7. 「ブレトンウッズ機関の役割の見直し」(愛知淑徳大学現代社会学部論集創刊号、単著 1996)